

1級 実技（面接）試験実施概要

実技（面接）試験は、以下の実施方法により行われます。

1. 実施方法：ロールプレイ …… 30分

口頭試問 …… 10分

2. 受検者は、民間の相談機関等において、キャリア・コンサルティングの実践を行いながら、キャリア・コンサルタントに対して事例指導の役割を担っていると仮定してロールプレイを行います。

3. 事例指導の進め方：事例は裏面に示す**3ケースのうち1ケース**が出題されます。*注

事例相談者（キャリア・コンサルタントの役割）は試験係員が行います。

事例相談者に対して、複数回事例指導する前提で、今回は**初回**として行います。

事例指導の進め方は自由ですが、相談時間に制限があることを踏まえ、最初に受検者（事例指導者）から**自己紹介**（ご自身の活動領域及び活動内容について1分程度で説明）し、その後、事例相談者に事例内容について説明を求めてください。事例相談者との教育指導関係を築き、事例相談者が抱えている問題の把握、事例相談者への育成的な目標を設定するなど、具体的な指導を行うよう心がけてください。

4. 受検室にボールペンとメモ用紙を1枚準備します。受検中は自由に使用可能です。なお、ボールペン、メモ用紙は一切持ち出しできません。

5. ロールプレイ後、口頭試問を行います。

口頭試問の例：

①事例指導を通して、自分の強み、弱みについてどのように感じましたか。

②事例相談者の進め方の問題はなんでしょうか。今後の目標をどう設定しましたか。その考え方もあわせて説明してください。

③事例相談者がキャリア・コンサルタントとして成長するためには、どのような力が必要だと思いますか。

6. 合格基準は100点満点で**60点以上**の得点です。評価区分は基本的態度、面接力、評価力、指導力の4区分です。なお、評価区分ごとに配点の**60%以上**の得点（所要点）が必要です。

7. 厳正な採点を行うため、面接試験内容は録音されます。

受検者は受検中録音できません。

*注 本概要は、実技試験受検者の方に受検票とあわせて配布しているものです。

実際に配布される実技（面接）試験実施概要には、ケース内容が記載されております。